

みなさんにとって昨年はどんな年だったでしょうか？山陽小野田市の 2025 年の主な出来事を振り返って  
みました。 図企画課 (☎ 82-1130)

## 新市誕生 20 周年

3 月

本市は 3 月 22 日に、新市誕生 20 周年を迎えました。20 周年を記念し、歴史民俗資料館での企画展「山陽小野田の昭和写真展」(7～9 月)、不二輸送機ホールでの「NHK のど自慢」(8 月)、「山口県警察音楽隊ふれ愛コンサート 2025」(12 月)等の行事を行いました。



NHK のど自慢

## 国連麻薬委員会のシンポジウムで 理科大生がスピーチ

3 月

山口東京理科大学薬学部の 2 人が、3 月 10 日から 14 日にかけてオーストラリア・ウィーンの国連国際センターにて開催された「第 68 会期国連麻薬委員会」のシンポジウムに出席し、薬物乱用防止活動の重要性について英語でスピーチしました。シンポジウムに参加した国連機関や各国 NGO 団体関係者を前に、薬物問題の解決には「薬物乱用の未然防止」が最も重要であるという日本の立場を訴える大役を果たしました。

## こども家庭センターの設置

4 月

すべての妊産婦・子育て世帯、子どもを切れ目なく支援していくため、ココシエ(子育て世代包括支援センター)、家庭児童相談室および母子保健事業を一体とした「こども家庭センター」をスマイルキッズ内に設置しました。

## 市長選挙・市議会議員選挙

4 月 10 月

任期満了に伴う山陽小野田市長選挙が 4 月 6 日に告示され、無投票で藤田剛二市長の 3 期目の再選が決定しました。また、任期満了に伴う市議会議員選挙が 10 月 5 日に行われ、新人 7 人を含む 22 人の市議会議員が選ばれました。



## 「最も長い 100m のお好み焼き」 ギネス記録への挑戦

5 月

5 月 5 日に、高泊地区において、全長約 100m のお好み焼き作りを目指す企画が地元「泥んこ実行委員会」主催で行われました。子どもから高齢者まで 400 人を超える参加者が挑戦し、100.57m の長さでギネス記録に認定されました。



## ふるさと文化遺産「コーストウォーク～海岸線から見る情景～」を登録

5 月

市観光協会が主催する「スマイルコースト・ウォーク」のコースとなっている海岸沿いや河川沿いには、市の歴史や風土を知るうえで、貴重な文化財が数多く残されています。そのことに着目し、海岸線から見る風景をテーマに 7 つ目の「ふるさと文化遺産」として登録しました。

## ドリームサッカー開催

6 月

6 月 28 日および 29 日に、おのサン サッカーパークで宝くじスポーツフェア「ドリームサッカー」を開きました。元サッカー日本代表選手 22 人が「ドリームチーム」を結成し、サッカー教室や市選抜チームとの親善試合で市民と触れ合いました。



## 山陽消防署埴生出張所が開所

9 月

9 月 2 日から山陽消防署埴生出張所が運用開始されました。災害の多様化が進む中で、市民の安全と安心を確保するため、埴生地区の新しい防災拠点施設となります。

## 中央図書館開館 30 周年

9 月

1995 年(平成 7 年)に開館した中央図書館では、30 周年記念セレモニーを開きました。セレモニーでは、図書館活動に貢献された人々に対する感謝状贈呈式、友好都市であるオーストラリア・モートンベイ市と交流会等を行いました。

## オーストラリア・モートンベイ市 を訪問

11 月

11 月 11 日から 13 日にかけて、友好都市であるオーストラリア・モートンベイ市を藤田市長が訪れました。レッドクリフステートハイスクールや本市のガラス文化を紹介する美術館訪問、サンシャインコースト大学提携語学学校(UIL)と山口東京理科大学との覚書締結の立会、モートンベイ市議会でのスピーチやピーター・フラナリー市長との意見交換等、両市のつながりを一層深める機会となりました。

